

資料1「基本構想(中間案)」に対する柳井雅也委員の御意見

3 (1) この学都のところにもう少し産業との関係を書き込むべきではないか。都市型産業や知的クラスターの育成を進める観点からはつながりのところに入れておく必要があるのではないか。

3 (4) 「人材の交流により、」の後に「仙台がもっている価値資源を生かし、」というような仙台らしい表現を加えたほうがよいのではないかと。
仙台の資産を世界的交流に結びつけていくという、世界に向かって交流に積極的な、世界に対してオープンな姿勢が見えたほうがよい。

3 (4) 「経済や人材の交流により」は「経済交流や世界からやってくる人材の活用、交流により」のような表現のほうが良いのではないかと。
交流にはおさまらない人材の利活用の表現も入らないと足りない気がする。

3 (4) 「中小企業」の表現を「産業」、「企業」などに変え、新産業の誘致・育成や連携などの要素も必要ではないかと。
中小企業にこだわる必要はないと考える。既存の産業だけを想定しているように受け取られるので、新産業育成による新たな活力ということを入れる意味からも広くとらえたほうが良いのではないかと。

産業育成の観点からは、人口が横ばいの予測されるこの10年間で最後の勝負の時期で、これを逃すと新産業がはりつかない。人口減少となれば企業はマーケットの縮小ととらえるので、外国への進出など、これまでの国内での拡大方針とは大きく変わってくることが予測される。そうってから新産業の育成といっても難しい。

農商工連携のような農業に対する目配りが必要ではないかと(具体的に表現を入れることは難しいが)。